

教員年間活動計画ならびに報告

【令和6年度】

氏名	谷 太郎	所属	一般科目(理科系)	職位	准教授
----	------	----	-----------	----	-----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	40	前期に本科4科目、専攻科1科目の授業を行い、後期に本科3科目の授業を行う。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	20	科研費採択課題「楢岡ファイバーカラビ-ヤウ空間における非小平型特異点」の研究を推進する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	30	1. 2Eの学級担任としての業務を行う。 2. サッカー部顧問としての業務を行う。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	5	1. 2Eの学級担任を担当する。 2. 産学民テクノセンター委員会、知的財産委員会にて委員を務める。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	産学民テクノセンター委員としての業務を行う。
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	谷 太郎	所属		理科		職位	准教授	報告年度	令和5年度
分野	計画		実績		記載事項例				
	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)					
教育	50	物理、応用物理1、応用物理実験、現代物理学の授業を行い、関連する教材開発、教育方法の改善に取り組む。	50	計画通り実施した。	担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容				
研究	20	科研費採択課題「楕円ファイバーカラビヤウ空間における非小平型特異点」の研究を推進する。	20	計画通り実施した。	論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金				
学生生活指導	5	サッカー部代表顧問としての責務を果たす。	5	計画通り実施した。	クラブ顧問 コンテスト指導				
校務・管理運営	20	材料システム工学科2年担任としての責務を果たす。各種委員会(産学民連携テクノセンター運営委員会、知的財産委員会、安全衛生委員会)委員としての責務を果たす。	20	計画通り実施した。	主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員				
社会活動	5	所属学会:日本物理学会	5	産学民テクノセンター委員としての業務を行った。	所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動				

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。